事業所名　はなまる本店

支援プログラム

作成日　2025 年　2 月　14 日

法人（事業所）理念		障がいがある子どもたちとその保護者にとって必要とされる場所とは、どんなところでしょうか？ただ見てくれるだけでなく、社会とのつながりや児童同士のつながりが生み出される場所になれるように。私たちはそんな場所を目指して「はなまる」を作ることにしました。子ども達が安心して遊び、成長してほしい。「はなまる」はそう願う保護者にとっての止まり木となるような存在を目指しています。		
支援方針		・個別支援、集団活動の両方を行い、活動の中でSST（ソーシャルスキル・トレーニング）を取り入れ、他の人と関わりながら生きていく為に欠かせないスキルを身につけます。 ・お子様の発達に合わせた、宿題、学習の支援を行います。 ・就学前に必要なトイレトレーニング、読み書き、発語に力を入れることで、学校生活がより楽しめるように支援を行います。 ・買い物支援やクッキングイベントなどの活動を通して、子どもたちの身辺自立に繋げます。 ・プレイルーム・学習スペース・リラックススペースが分かれており、子ども達の「やりたい」や「友だちと遊ぶ」に繋がる環境作りをしております。		
営業時間		10　時　0 分から　19 時　0 分まで	送迎実施の有無	あり
		支 援 内 容		
本人支援	健康・生活	・トイレトレーニングでは定時排尿の促しや、拭き取り練習などを通して排泄面での自立を目指します。 ・LST（買い物支援、外出支援、時計学習、料理、着替え、紐結び、洗体を想定した模倣練習など）を通して、生活で必要なスキルを伸ばします。 ・性教育を通して、他者との距離感や自分の身を守るための支援を行います。		
	運動・感覚	・姿勢保持を目的とした体幹トレーニングを、キッズヨガや運動遊びを通して行います。 ・粗大運動を通して、体の使い方やボディイメージの強化を目指します。（新聞紙を用いた足裏運動、トランポリン、平均台、ボール投げ等） ・手先のトレーニング（微細運動）や工作を通して、指先の巧緻性を伸ばします。（プットイン、型はめ、ボタン練習、折り紙、定規などの文房具の扱い方等） ・感覚遊びを通して五感を刺激し、楽しみながら発達を促す環境を作ります。 ・感覚過敏のお子さんに配慮したスペース作りやイヤマフなどのグッズの提供を行います。 ・リトミックを通して、リズム感や体の動かし方を養います。		
	認知・行動	・学習支援を通して、つまづきのフォローや興味のある分野を伸ばす手伝いをします。 ・家庭に代わり、宿題支援を行います。（運筆、かず、読み書き、計算、音読、リコーダー、教科学習等）、また、集中して取り組めるよう環境調整を行います。 ・視覚支援を通して見通しを立てた活動を行い、時間の感覚や切り替える力を伸ばします。 ・絵カードや運筆などを通して、学習の土台となる力を養う手伝いをします。		
	言語 コミュニケーション	・絵カードやひらがな絵本、口唇周りの体操などを通して、発語練習を行います。 ・雑談の機会を作り、他者との会話に慣れて楽しめるように支援します。 ・会話を通して、語彙の増加を目指したり、伝わる言い方、敬語などを学びます。		
	人間関係 社会性	・SST（ソーシャルスキルトレーニング）を通して、自己理解や他者理解を深め、円滑に他者と関われるように支援します。 ・アンガーマネジメントを通して、適切な怒りの表現や伝え方、発散ができるように支援します。 ・集団遊びや集団活動を通して、ルールの遵守や協調性を伸ばします。		
家族支援		困りごとが発生した際は、面談や会議などの機会を設け、問題解決のために相談援助を行います。また、利用時の様子や支援内容の進捗を、連絡帳、LINE、送迎等の時にお伝えし、情報共有に努めます。	移行支援	就学や進学に向けて、身辺自立や学習支援、SSTを通して他者との関わり方や社会的なルールについて学ぶためのサポート、進学先の情報提供、卒業生には必要な福祉サービスの情報提供などを行います。
地域支援・地域連携		事業所内での日々の様子を、適宜保護者や関係機関（幼稚園、保育園、学校、相談支援事業所等）に共有し、一貫した療育の提供に努めます。都島区地域自立支援協議会の部会へ参加。	職員の質の向上	社内：OFF -JT・OJT、人権擁護研修、対人援助研修、専門職研修、運営管理者（リーダー）会議、事業所内人材育成研修 社外：強度行動障害支援車養成研修（基礎・実践）、児童発達支援管理責任者基礎研修、エルムおおさか主催研修
主な行事等		週末イベント（ランチクッキング、おやつ作り、食育、工作、理科実験、お誕生日会、買い物支援、外出支援、公園遊び、季節の行事、公共機関を使った外出支援、運動遊びなど） 避難訓練、防災訓練		